

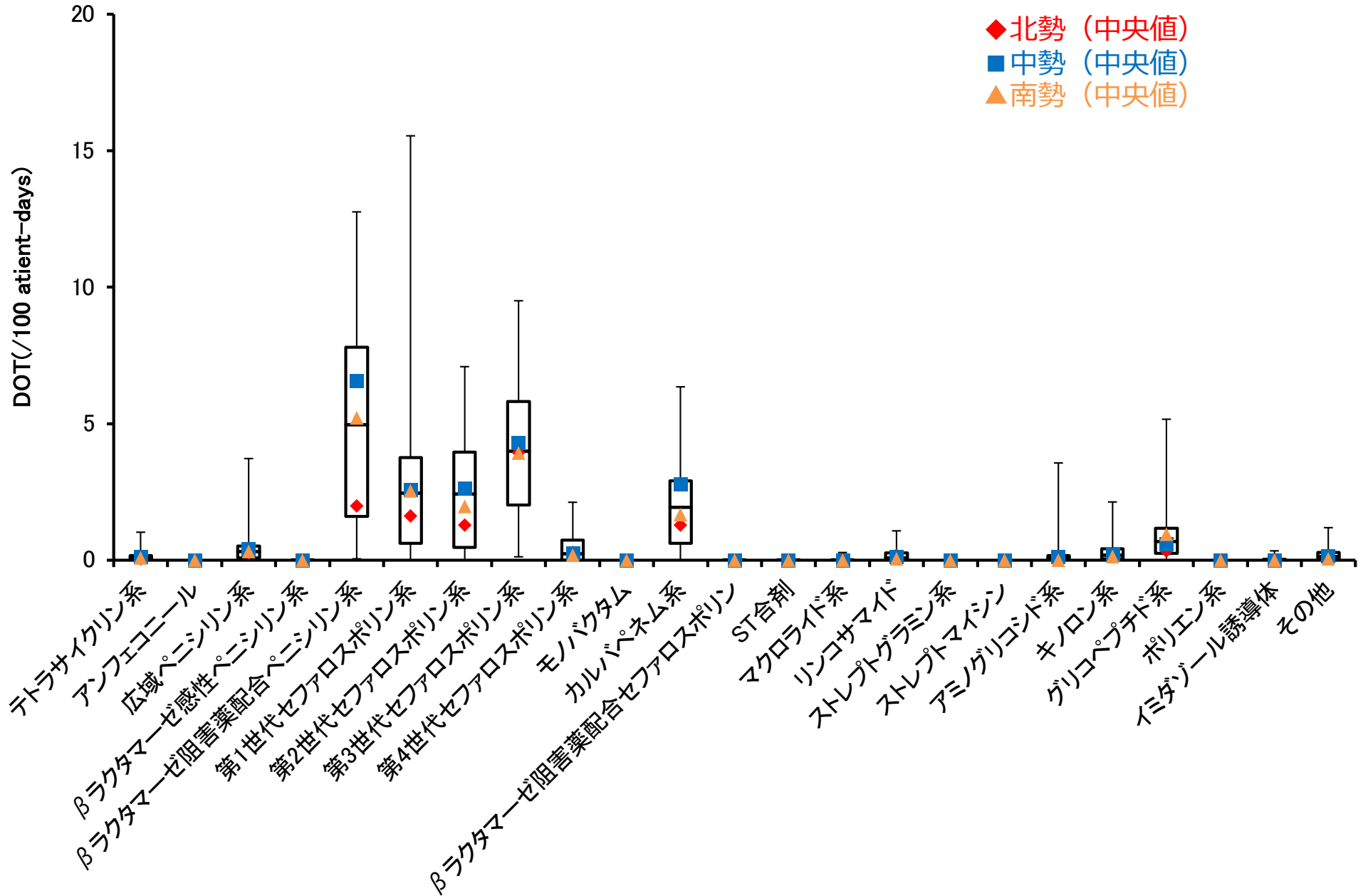


# 三重県抗菌薬サーベイランス (MACS) 事業報告 (2023年)

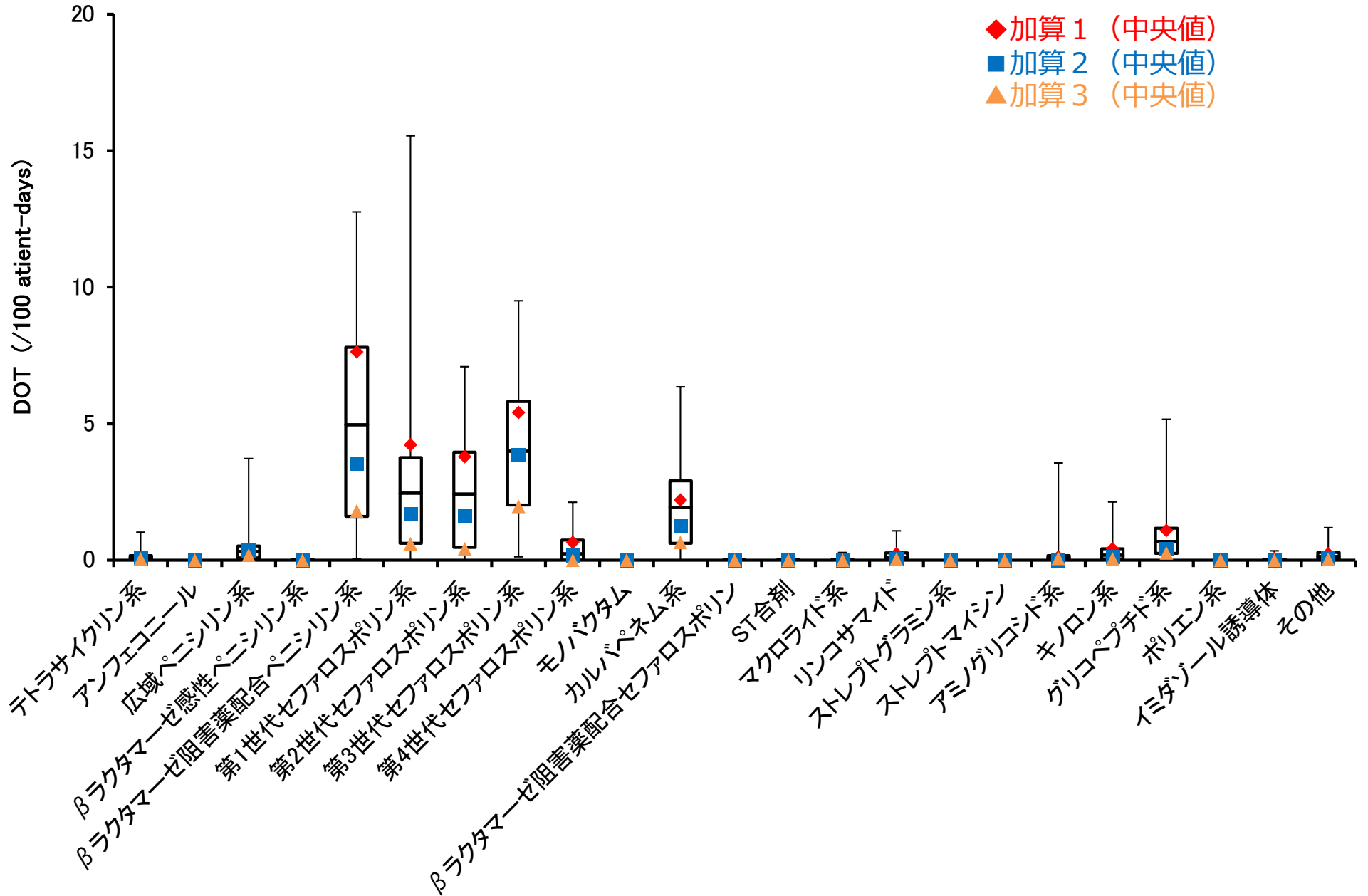
# MACS参加施設数

2次医療圏	加算	2020年	2021年	2022年	2023年
北勢	加算1	5	7	6	7
	加算2	1	2	2	3
	加算3	-	-	4	7
	加算なし	0	1	1	1
小計（北勢）		6施設	10施設	13施設	18施設
中勢	加算1	6	6	7	5
	加算2	0	1	2	2
	加算3	-	-	4	5
小計（中勢）		6施設	7施設	13施設	12施設
南勢	加算1	5	6	6	6
	加算2	0	1	2	3
	加算3	-	-	5	5
	加算なし	0	0	1	1
小計（南勢）		5施設	7施設	14施設	15施設
総参加施設数		17施設	24施設	40施設	45施設

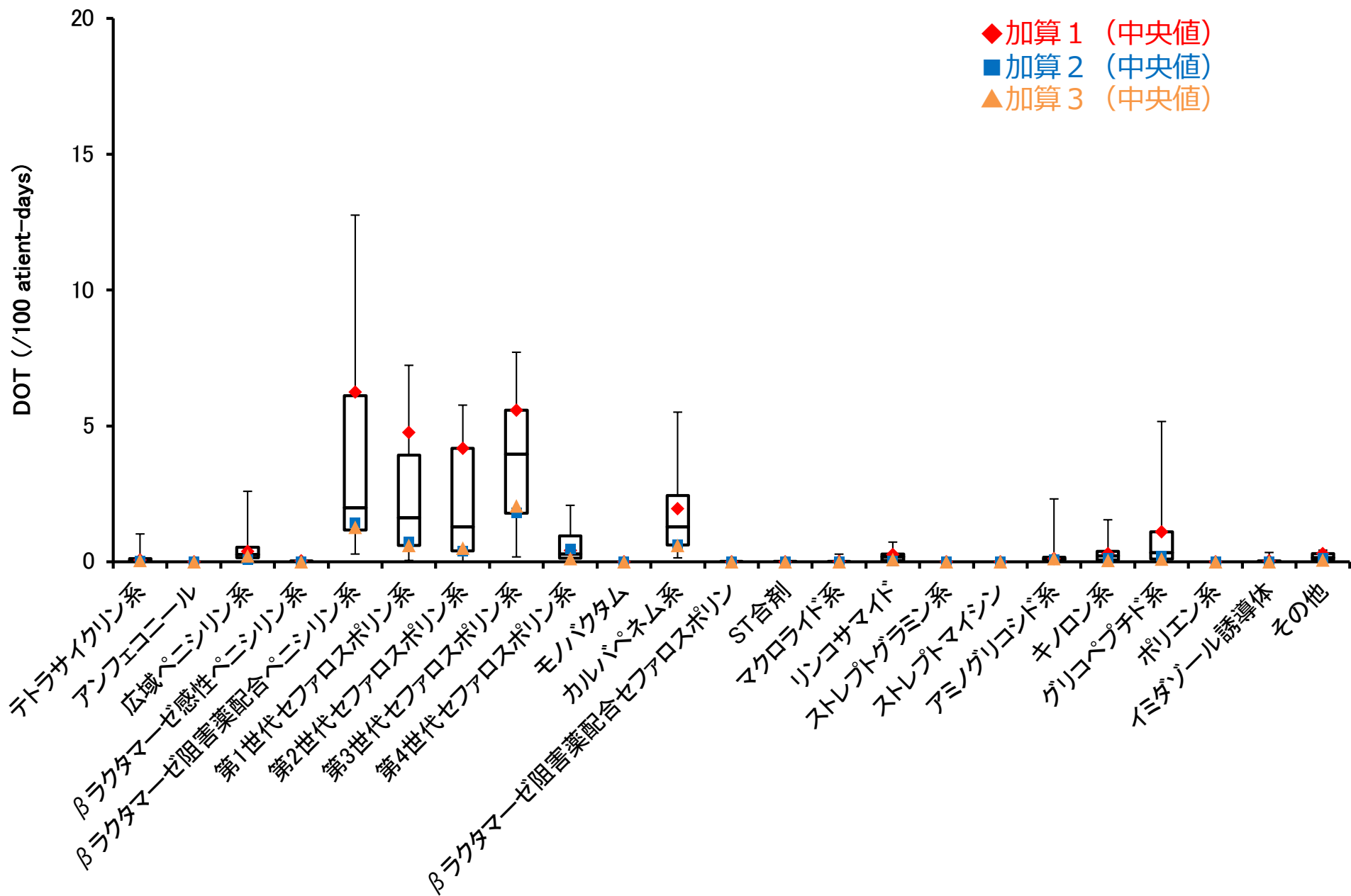
# 【結果①-1】MACS参加施設における2023年DOT (県全体・地区別)



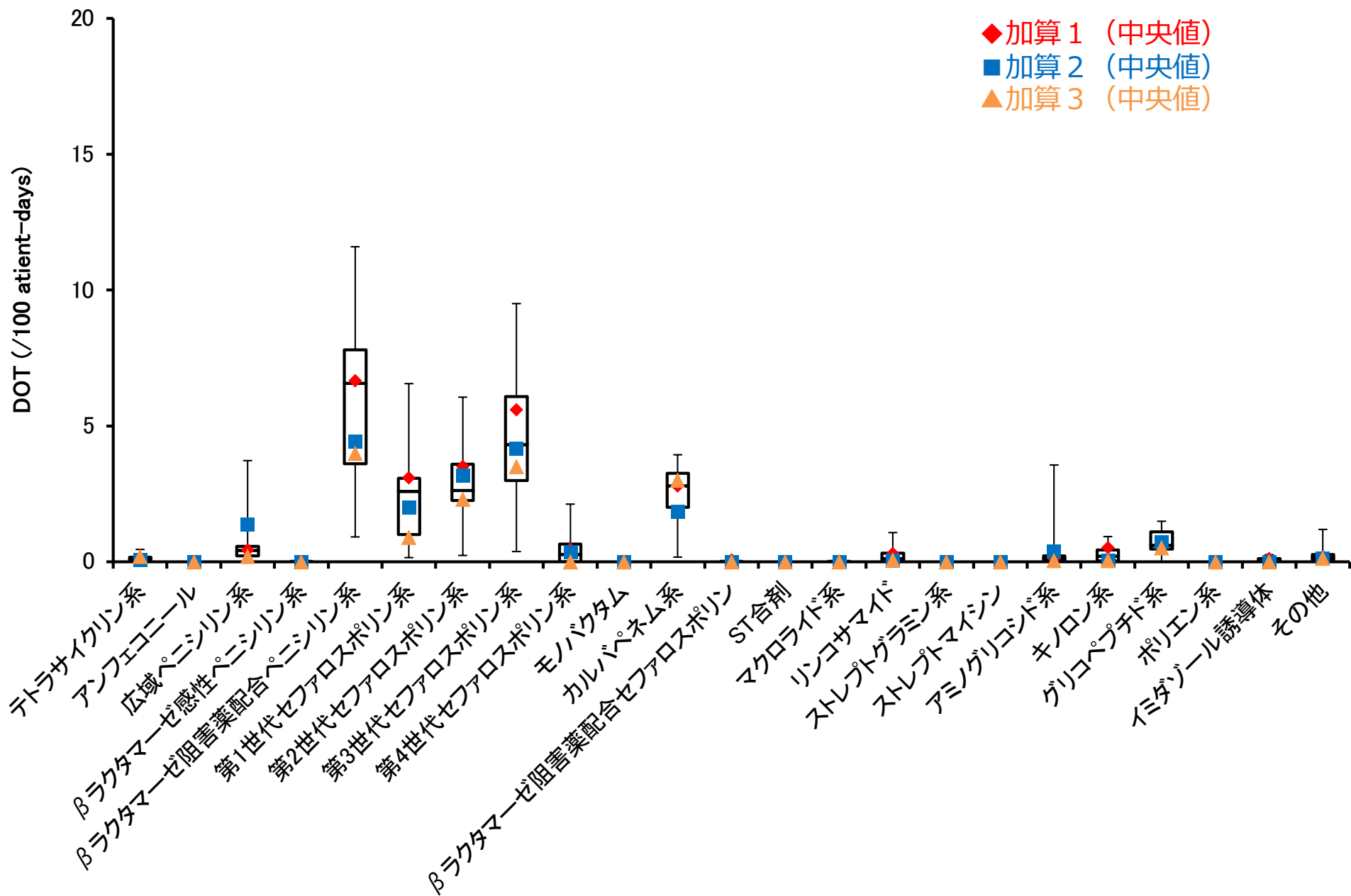
# 【結果①-2】 MACS参加施設における2023年のDOT (県全体・加算別)



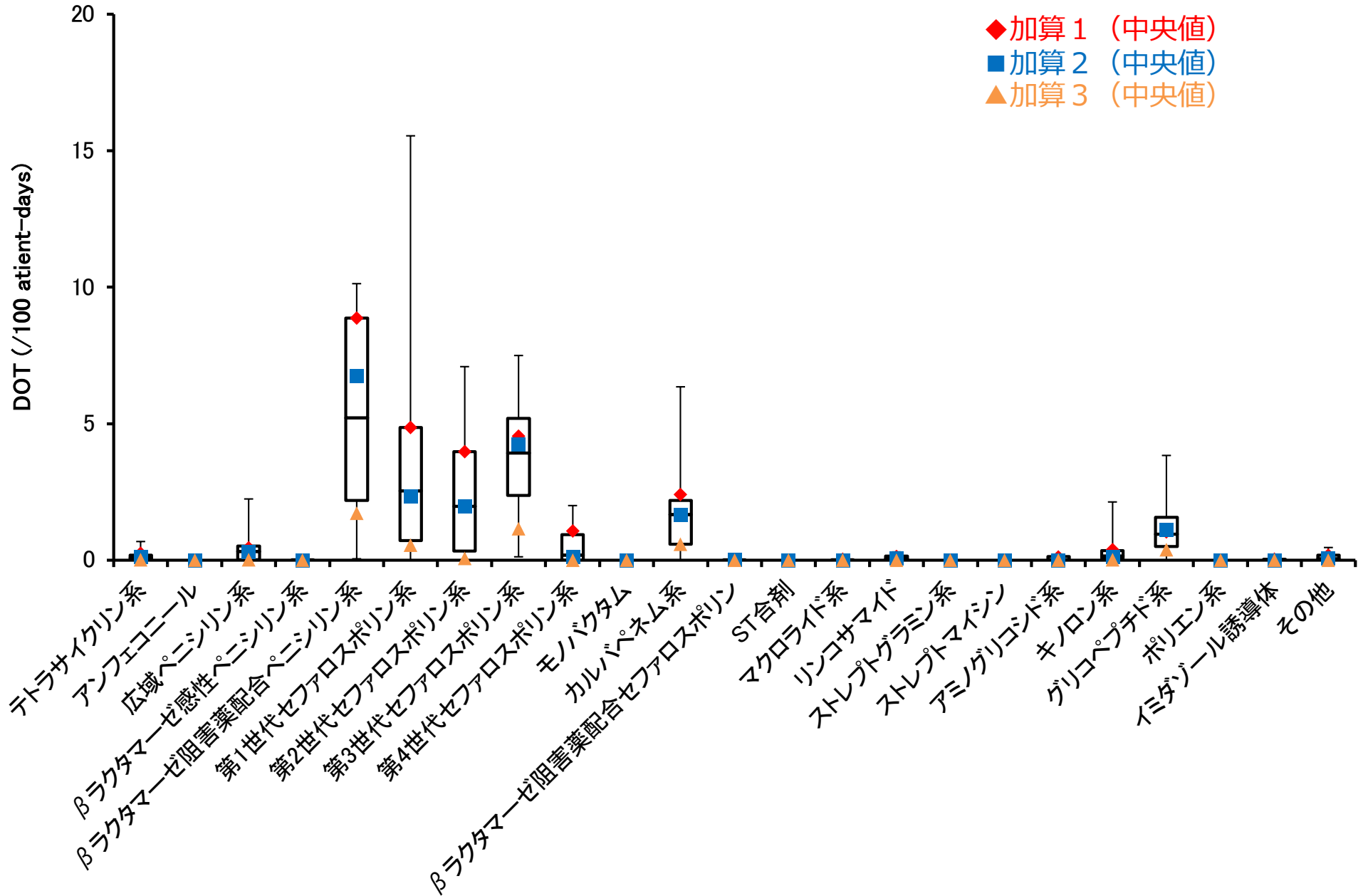
# 【結果①-3】 MACS参加施設における2023年DOT（北勢地区）



# 【結果①-4】 MACS参加施設における2023年DOT（中勢地区）

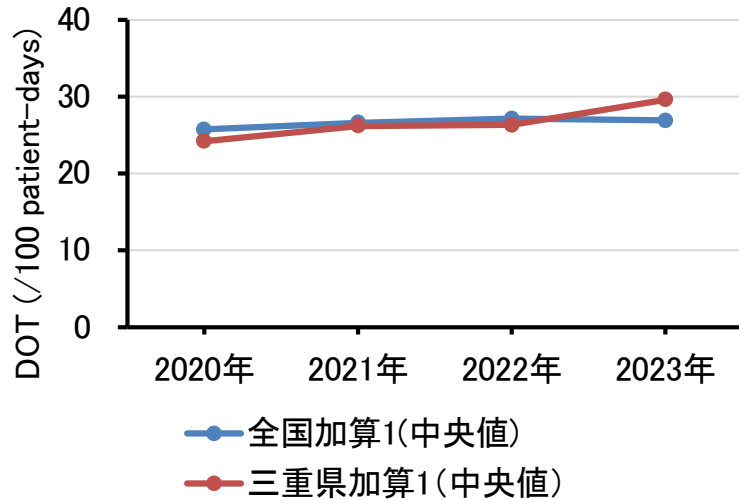


# 【結果①-5】 MACS参加施設における2023年DOT（南勢地区）

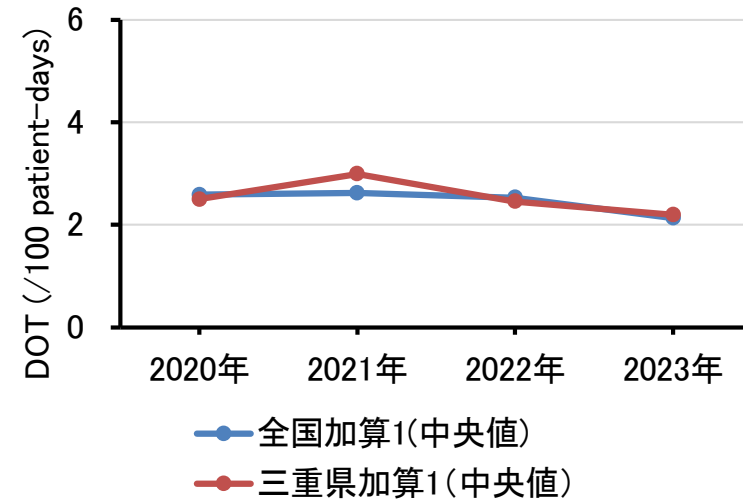


# 【結果②-1】抗菌薬使用動向経年の推移（加算1：全国・三重県）

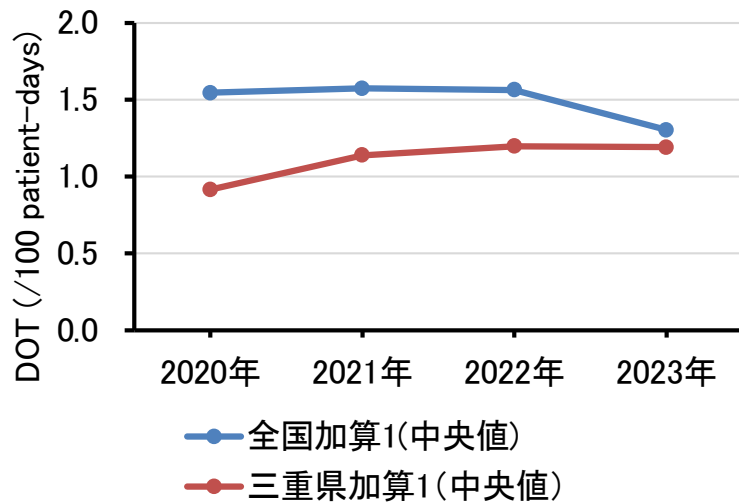
## 【静注用抗菌薬全体】



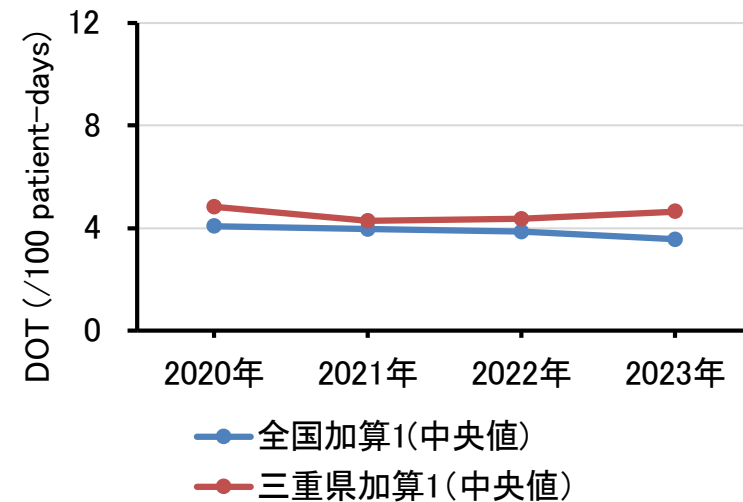
## 【カルバペネム系薬】



## 【抗MRSA薬】



## 【キノロン系薬（静注+内服）】

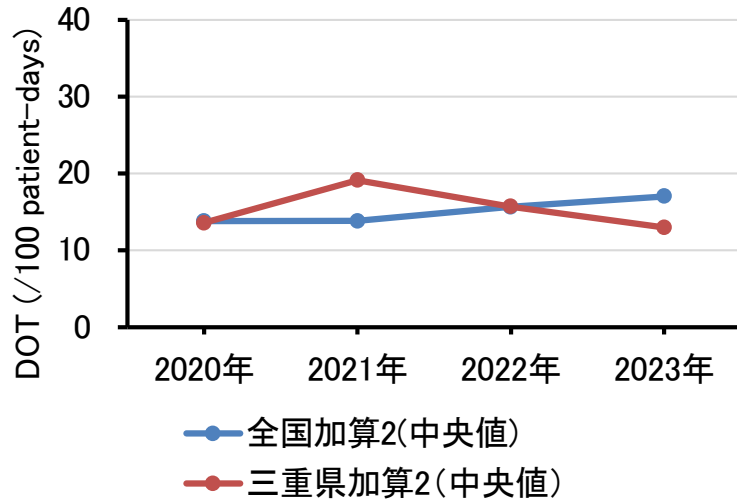


三重県加算1： 2020年 16施設、2021年 19施設、2022年 19施設、2023年18施設

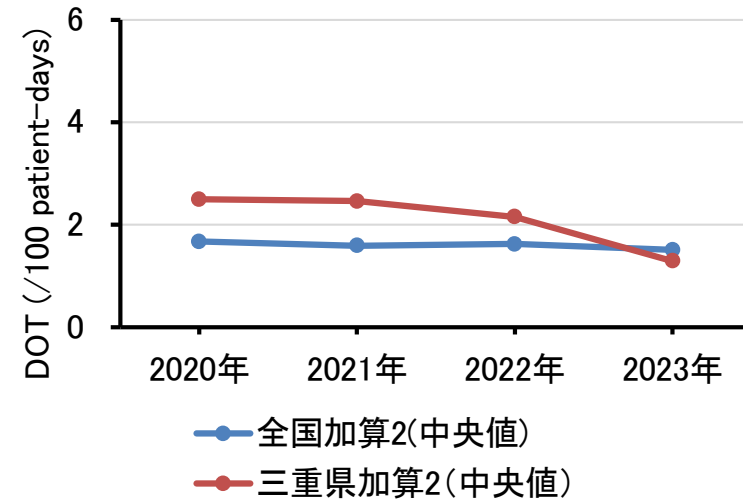


# 【結果②-2】抗菌薬使用動向経年の推移（加算2：全国・三重県）

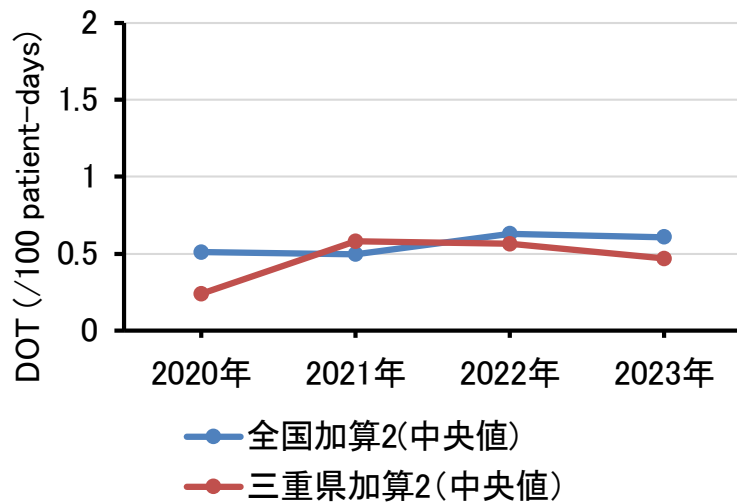
## 【静注用抗菌薬全体】



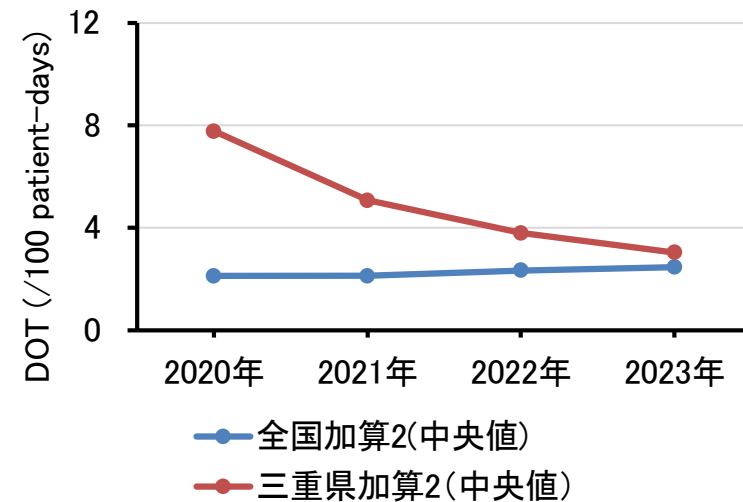
## 【カルバペネム系薬】



## 【抗MRSA薬】



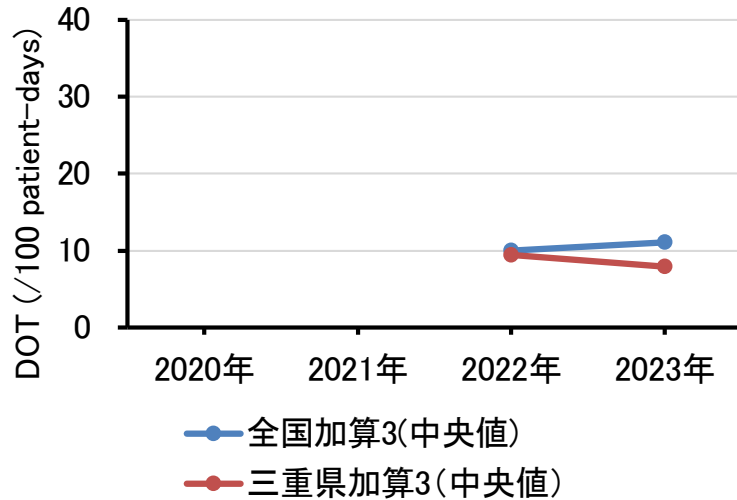
## 【キノロン系薬（静注+内服）】



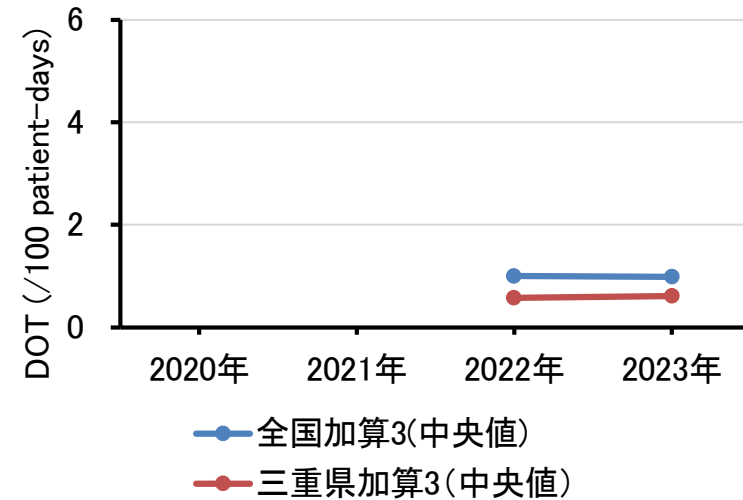
三重県加算2：2020年 1施設、2021年 3施設、2022年 6施設、2023年8施設

# 【結果②-3】抗菌薬使用動向経年の推移（加算3：全国・三重県）

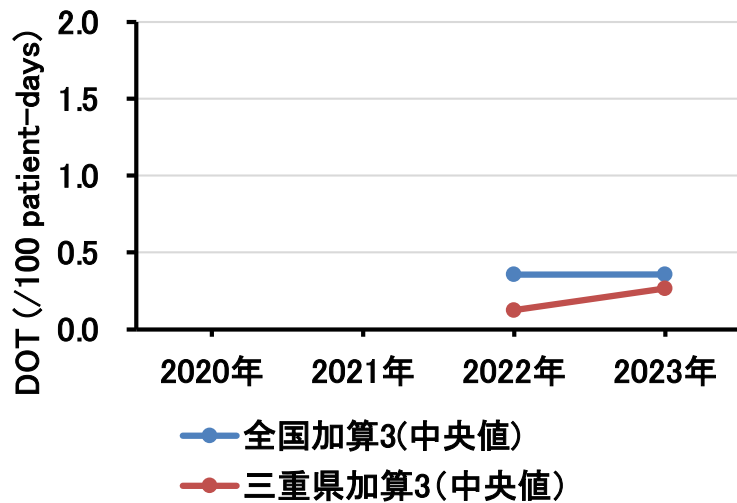
## 【静注用抗菌薬全体】



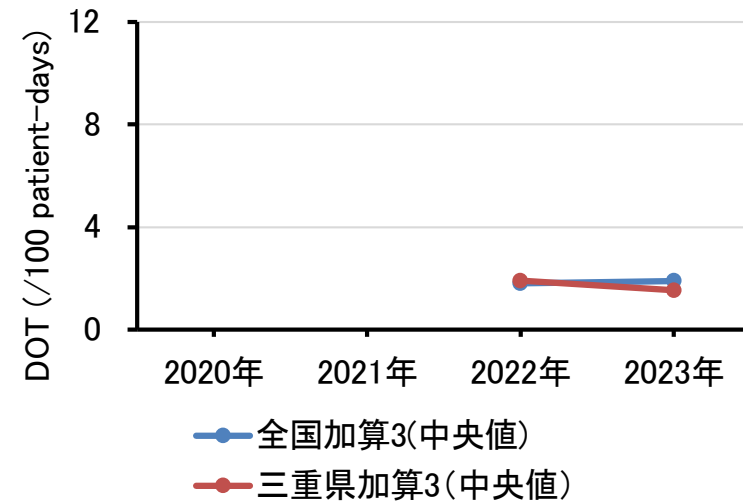
## 【カルバペネム系薬】



## 【抗MRSA薬】



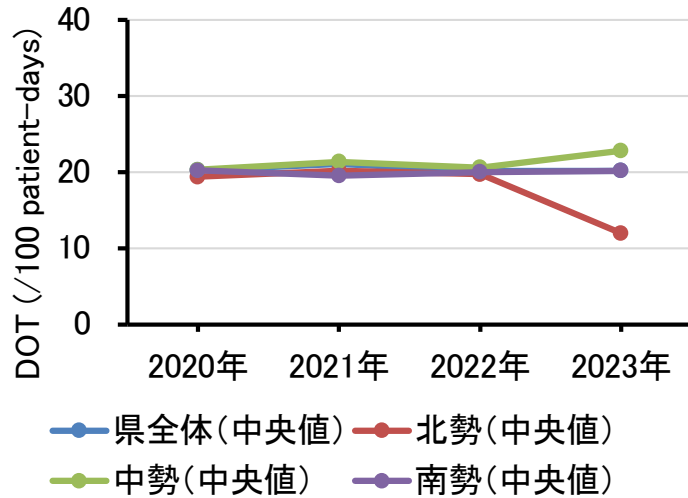
## 【キノロン系薬（静注+内服）】



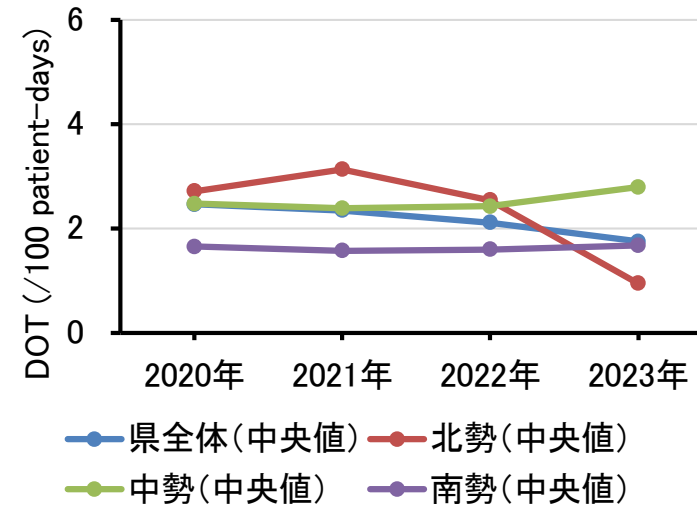
三重県加算3：2022年 13施設、2023年 17施設

# 【結果②-4】抗菌薬使用動向経年の推移（県全体・地区別）

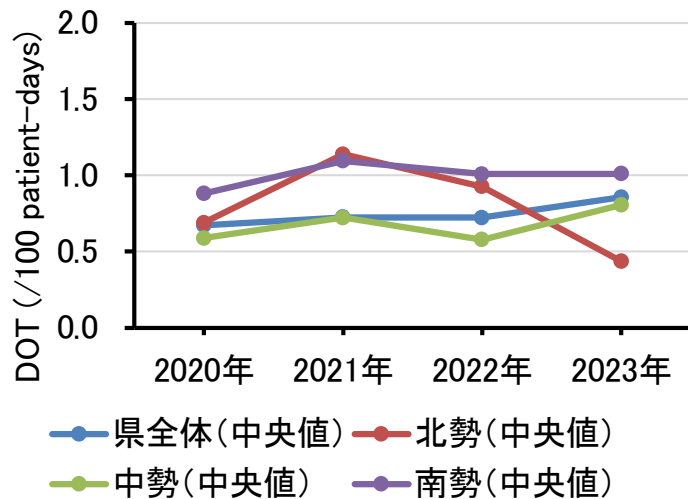
## 【静注用抗菌薬全体】



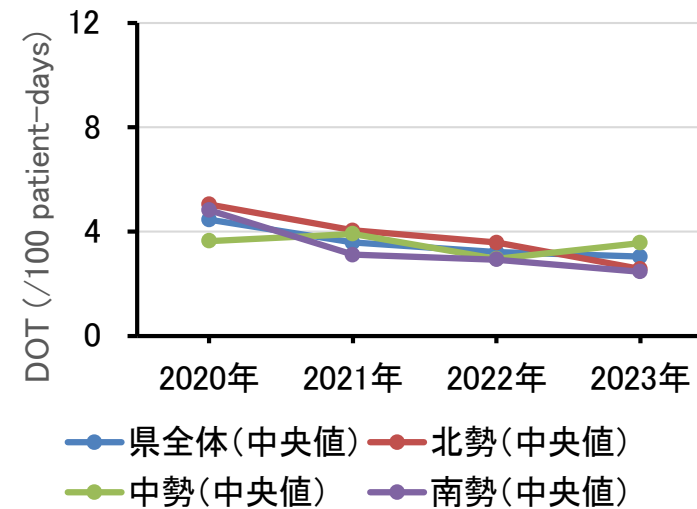
## 【カルバペネム系薬】



## 【抗MRSA薬】



## 【キノロン系薬（静注+内服）】

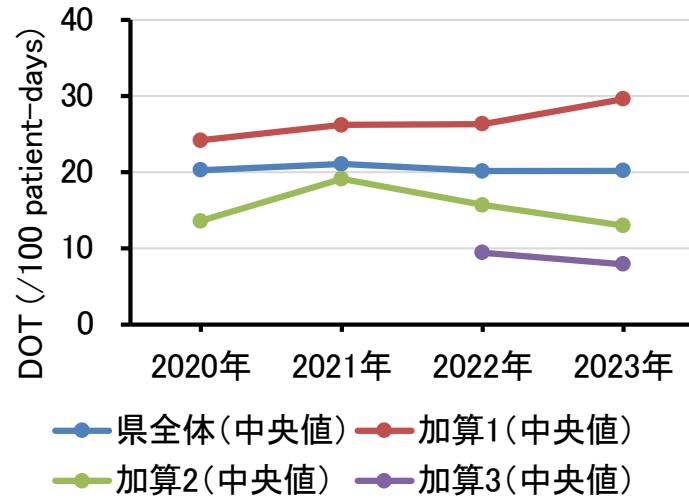


県全体：2020年 17施設、2021年 24施設、2022年 40施設、2023年 45施設  
 北勢：2020年 6施設、2021年 10施設、2022年 13施設、2023年 18施設

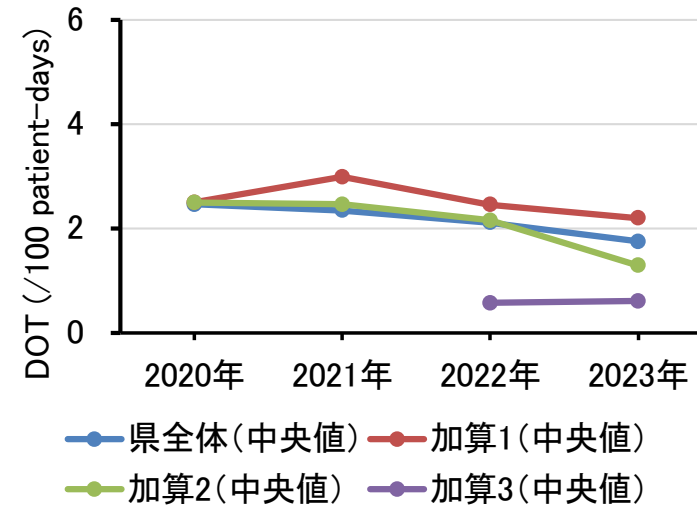
中勢：2020年 6施設、2021年 7施設、2022年 13施設、2023年 12施設  
 南勢：2020年 6施設、2021年 7施設、2022年 14施設、2023年 15施設

## 【結果②-5】抗菌薬使用動向経年の推移（県全体・加算別）

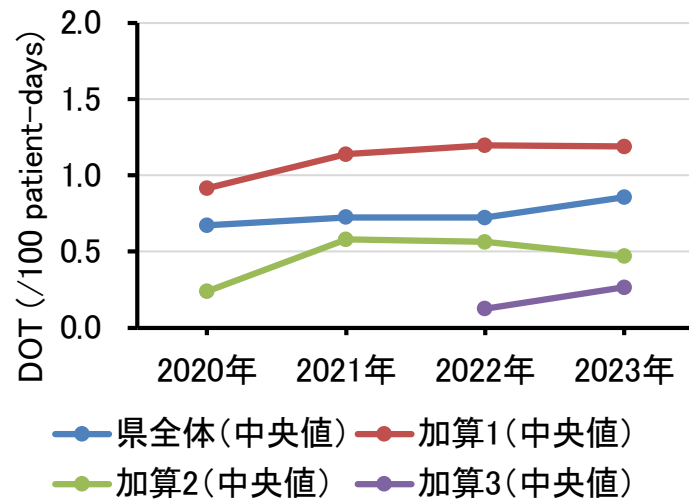
### 【静注用抗菌薬全体】



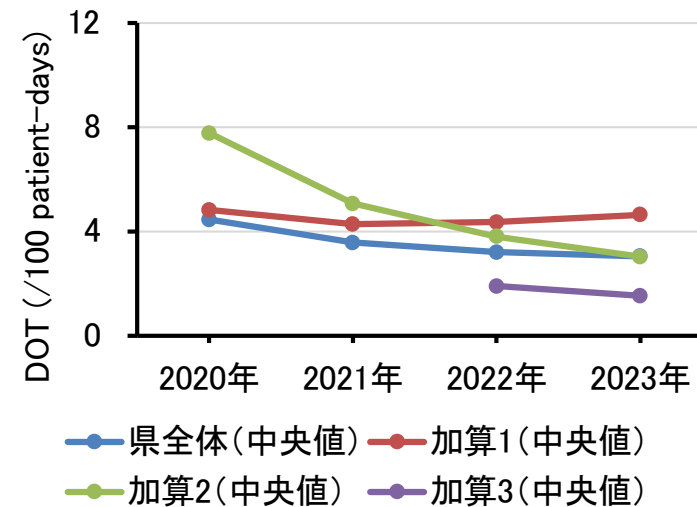
### 【カルバペネム系薬】



### 【抗MRSA薬】



### 【キノロン系薬（静注+内服）】

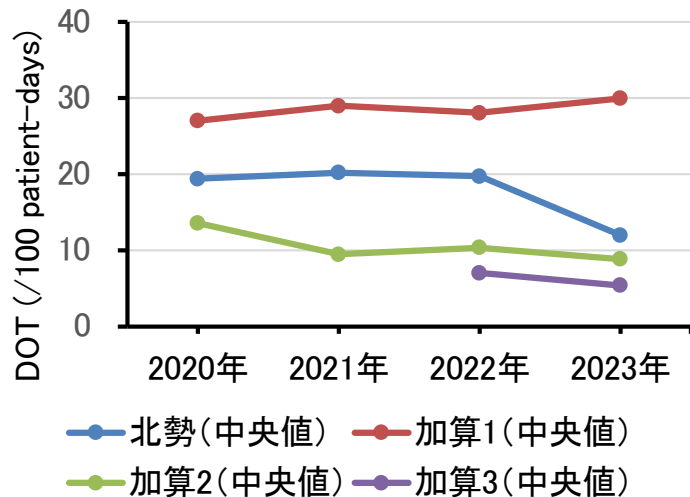


県全体：2020年 17施設、2021年 24施設、2022年 40施設、2023年 45施設  
 加算1：2020年 16施設、2021年 19施設、2022年 19施設、2023年 18施設

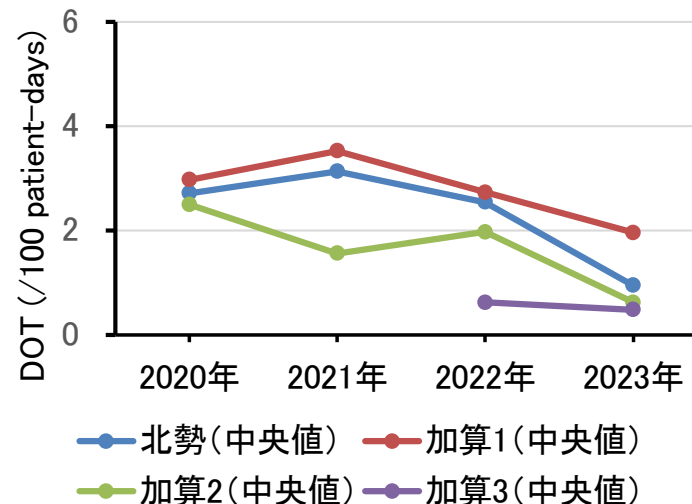
加算2：2020年 1施設、2021年 3施設、2022年 6施設、2023年 8施設  
 加算3：2022年 13施設、2023年 17施設

# 【結果②-6】抗菌薬使用動向経年の推移（北勢・加算別）

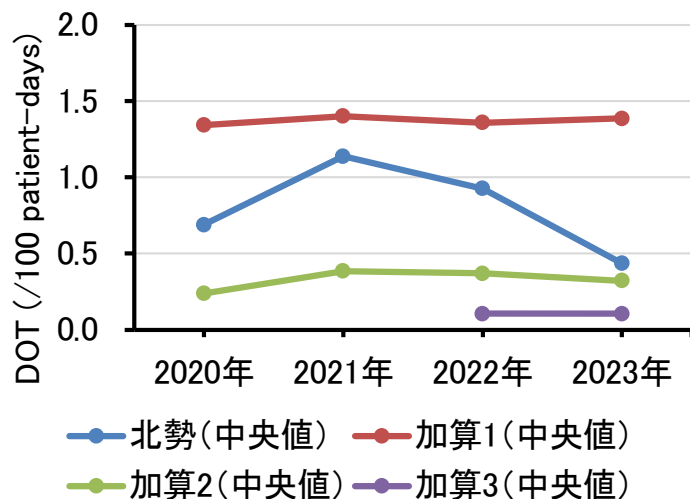
## 【静注用抗菌薬全体】



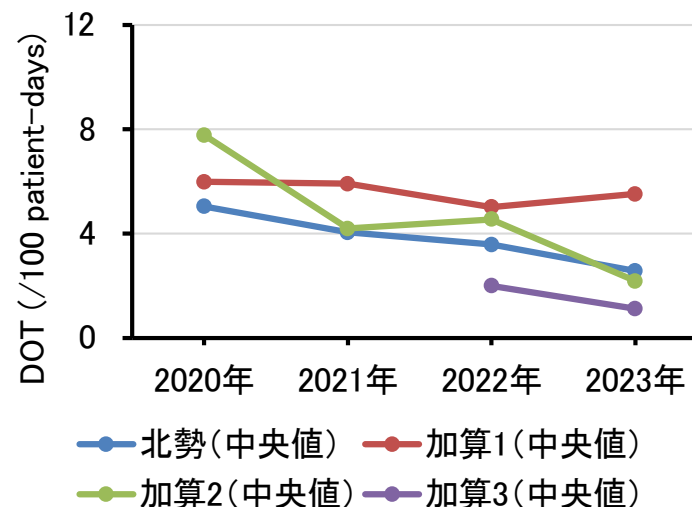
## 【カルバペネム系薬】



## 【抗MRSA薬】



## 【キノロン系薬（静注+内服）】

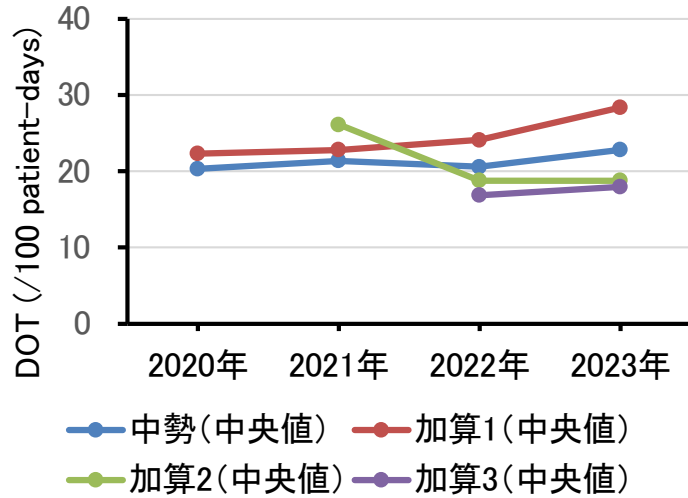


北勢： 2020年 6施設、2021年 10施設、2022年 13施設、2023年 18施設  
 加算1： 2020年 5施設、2021年 7施設、2022年 6施設、2023年 7施設

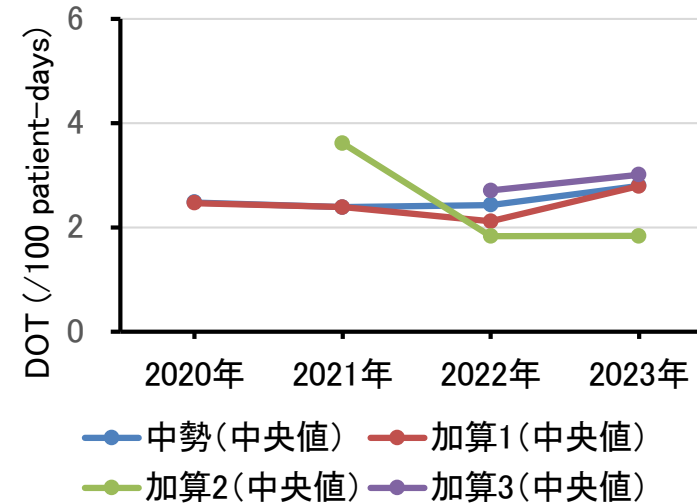
加算2： 2020年 1施設、2021年 2施設、2022年 2施設、2023年 3施設  
 加算3： 2022年 4施設、2023年 7施設

# 【結果②-7】 抗菌薬使用動向経年の推移（中勢・加算別）

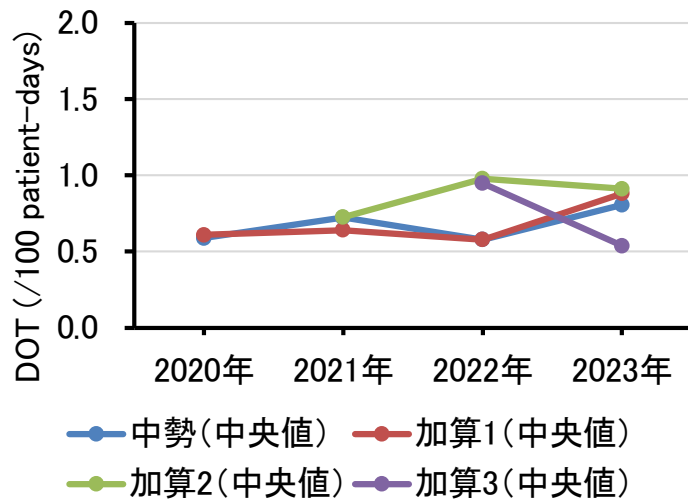
## 【静注用抗菌薬全体】



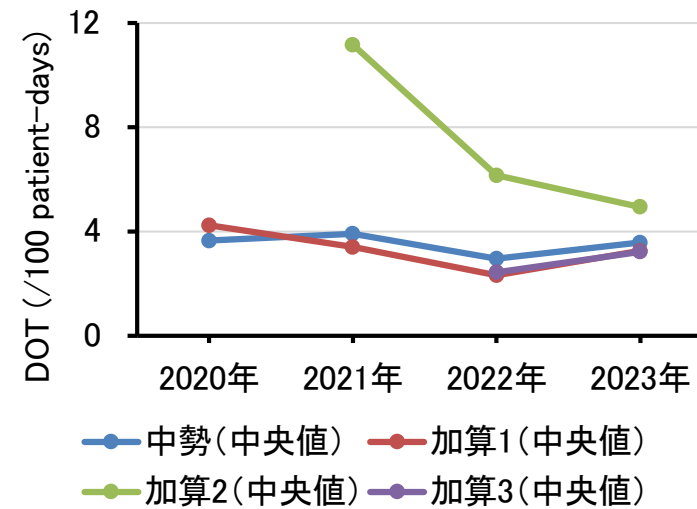
## 【カルバペネム系薬】



## 【抗MRSA薬】



## 【キノロン系薬（静注+内服）】

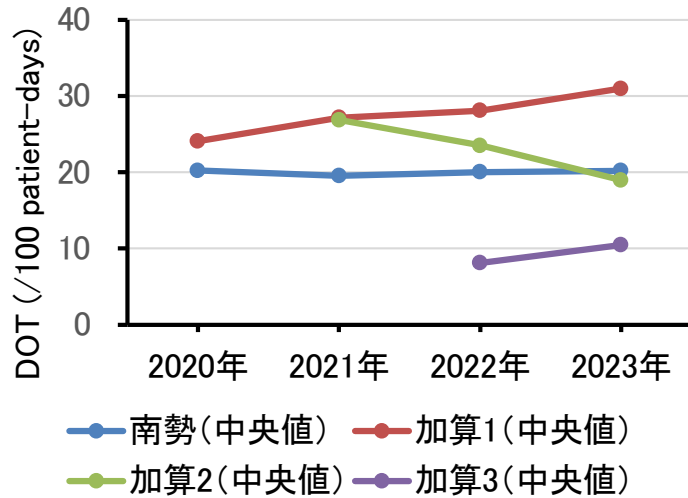


中勢： 2020年 6施設、2021年 7施設、2022年 13施設、2023年 12施設  
 加算1： 2020年 6施設、2021年 6施設、2022年 7施設、2023年 5施設

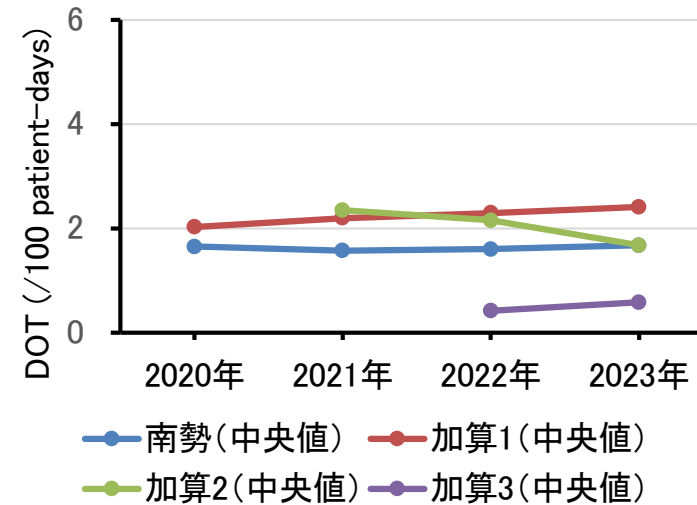
加算2： 2021年 1施設、2022年 2施設、2023年 2施設  
 加算3： 2022年 4施設、2023年 5施設

# 【結果②-8】抗菌薬使用動向経年の推移（南勢・加算別）

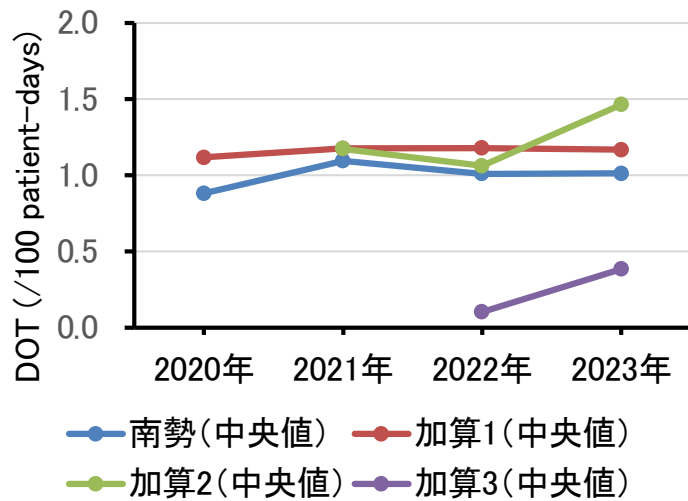
## 【静注用抗菌薬全体】



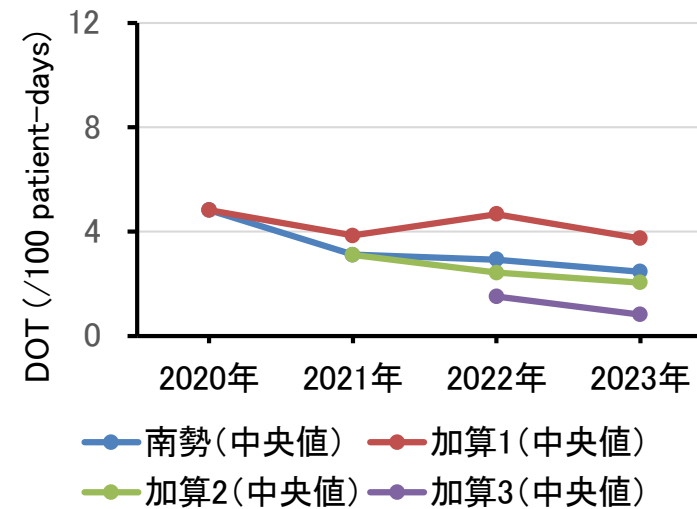
## 【カルバペネム系薬】



## 【抗MRSA薬】



## 【キノロン系薬（静注+内服）】



南勢： 2020年 5施設、2021年 7施設、2022年 14施設、2023年 15施設  
 加算1： 2020年 5施設、2021年 6施設、2022年 6施設、2023年 6施設

加算2： 2021年 1施設、2022年 2施設、2023年 3施設  
 加算3： 2022年 5施設、2023年 3施設

## 【まとめ】

- MACS参加施設数は経年的に増加しており、より実態に近い地域の抗菌薬使用動向を把握できるようになってきていると考えられた。
- 中勢地区では、カルバペネム系薬の使用日数が他の地区と比べ多い状況であることが示された。また、南勢地区では、抗MRSA薬の使用日数が他の地区と比べ多い状況であることが示された。一方で、北勢地区では、カルバペネム系薬および抗MRSA薬の使用日数が、他の地区よりも少ない状況であった（結果①-1,②-4）
- 各地区の加算別の使用日数を比較した場合、全般的に加算1 > 加算2 > 加算3の順に多い状況であったが、中勢地区では加算3のカルバペネム系薬の使用日数が多く、南勢地区では加算2の抗MRSA薬の使用日数が多いう状況であった。（結果①-4,①-5）
- 抗菌薬使用日数の経年的変化は全般的にほぼ横這いで推移していたが、北勢地区ではカルバペネム系薬および抗MRSA薬の使用日数が減少していた。（結果②-4）
- 加算2のカルバペネム系薬およびキノロン系薬の使用日数は、全国の加算2と比べて多い状況であったが、2023年は全国データと同程度まで減少していた。（結果②-2）